

静岡県東部で「破線の山」となると、伊豆半島の山が圧倒的に多い。半島最高峰・万三郎岳（1406m）周辺の地図を眺めていると、南面から戸塚山へ至る長い尾根が目につく。伊豆は、一般登山道をはざれると、ブナやヒメシヤラの森が広がり、案外深い自然に浸れるのが魅力。この尾根も同様で、踏み跡が薄い上部には、自然林がひっそりと広がっている。途中の別荘地からも登れるが、ここでは伊豆の山で最大標高差（1360m）を体験できる、海拔0mの海からの南尾根を紹介する。

電車利用の場合は、熱海から伊東線・伊豆急行線乗り継ぎ、片瀬白田駅で降車する。自家用車の場合は、三島から修善寺を経由、天城トンネルを越え、河津から片瀬白田駅に着く。

さて、ここから登山開始になるが、「海拔0mからの登山」にこだわるなら、5分ほど歩いた片瀬海岸から登りたい。海からは遥か正面に天城連峰が長々と横たわる。ここから万三郎岳まで、累計標高差1460mは驚異である。

最初は温泉街を白田川沿いに歩く。小1時間から白田川は川久保川と堰口川に分かれる。ここに「東京発電KK」（注・東京電力ではない）の発電所がある。この裏が長大な戸塚山南尾根の取付。堰口川の橋を渡り、天城ハイランドの道を少し登って右に農道を行くと、ミカン畑が広がる。その脇から登り始める。

ここから「天城ハイランド」の別荘地までは、おおむね人工林が続きまったく面白くない。しかも、ハイランドは、使っていない別荘が多く、さながらゴーストタウン。周辺は粗大ゴミが多い。

ハイランドから車道を横切り、標高848m峰を目指す。ここからは豊かな自然

# 4 天城・戸塚山南尾根

## 伊豆で最大標高差の尾根を登る

静岡県



標高差1400mをクリアして万三郎岳に到着

林が広がり嬉しくなる。細い尾根を行くと、右手上方に万二郎岳が、富士山のような、優雅な山容を現す。

この上で再び車道を横切り、本格的な登りに入る。周辺は大きなブナやヒメシヤラが目立つ。左側にいい雰囲気の良い平地が広がり、天城平（仮称）と命名した。

南面ゆえか、標高1200mあたりから笹が多くなり苦戦する。しばらくの笹漕ぎで、ひょっこり戸塚山に出た。ここから万三郎岳は一般縦走路を少し下り、約100m登り返す。春や秋はにぎわう山頂も晩秋は静か。西側のブナ林で海から登った達成感にゆっくりひたりたい。

下山は片瀬峠から林道に出てハイランドを目指す。林道からの道が植林で分かりづらい。ハイランドから長い車道を、片瀬温泉まで下る。（記・後藤隆徳）

下左・戸塚山南尾根には大きなブナも見られた。1100m付近  
下右・1100m付近はブナやヒメシヤラの雰囲気の良い尾根となる



### DATA

アクセス●JR熱海駅から伊東線・伊豆急行線で片瀬白田駅まで。車の場合は三島から修善寺経由、天城トンネルを越え、河津から片瀬白田駅へ  
参考タイム●片瀬海岸（40分）東京発電所（1時間30分）天城ハイランド（50分）林道（1時間15分）戸塚山（25分）万三郎岳（1時間40分）天城ハイランド（1時間20分）片瀬海岸  
2万5千円●湯ヶ島、天城山、稲取、湯ヶ野  
温泉●片瀬温泉「花いっぱい温泉」（500円）ほか多数  
メモ●万三郎岳は一般には「まんざぶろうだけ」と呼ぶが、地元の「ばんざぶろうだけ」が正しい呼称。  
問い合わせ●東伊豆町役場 ☎0557-95-1100